

# ウクライナ危機と地政学リスクに立ち向かう国際戦略

## プロフィール

### 伊藤 洋一 ●経済評論家

(いとう よういち)



1950年長野県生まれ。

マクロ経済、特にデジタル経済を専門とする。著書に『ITとカースト：インド・成長の秘密と苦悩』（日本経済新聞出版社）、『カウンターから日本が見える』（新潮新書）、『上品で美しい国家』（ビジネス社 2006年）、『日本力』（講談社 2005年）、『スピードの経済』（日本経済新聞社 1997年）、『ビッグバン時代のネット活用術』（東洋経済新報社 1998年）、『グリーンズパンは神様か』（TBSブリタニカ 2001年）。訳書に『グリーンズパンの魔術』（日本経済新聞社 2000年）『欧州の挑戦』（時事通信社 1992年）など。現在「森本毅郎スタンバイ」（TBS）、「伊藤 洋一のラウンドアップナウ」（ラジオNIKKEI）、日経ヴェリタス（日経CNBC）などに出演。

### 手嶋 龍一 ●作家・外交ジャーナリスト

(てしま りゅういち)



NHKワシントン支局長として9・11同時多発テロに遭遇し、11日間の連続中継を担当。

NHKから独立後に発表した『ウルトラ・ダラー』、続編の『スギハラ・ダラー』がベストセラーに。ノンフィクション作品には『汝の名はスパイ、裏切り者あるいは詐欺師』『ブラック・スワン降臨』など多数。

ウクライナが舞台のインテリジェンス小説の最新作『鳴かずのカッコウ』は、日々のニュースがこの物語を追いかけていると評された。

### 伊藤 さゆり ●㈱ニッセイ基礎研究所 経済研究部 研究理事

(いとう さゆり)



1987年早稲田大学政治経済学部卒業後、日本興業銀行（現みずほ銀行）を経て、2001年ニッセイ基礎研究所入社、2019年7月から現職。

早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了。15年度より早稲田大学商学学術院非常勤講師兼務。日本EU学会理事

著書に「EU分裂と世界経済危機 イギリス離脱は何をもたらすか」（NHK出版新書）、近著に「EUと新しい国際秩序」（日本評論社）、「沈まぬユーロ」（文真堂）（いずれも共著）。

### 西谷 公明 ●合同会社N&Rアソシエイツ代表 ●エコノミスト

(にしに たかもあき)



1953年愛知県生まれ。1984年早稲田大学大学院経済学研究科修了（国際経済論修士）。

長銀総合研究所、在ウクライナ日本大使館専門調査員を経て、1999年トヨタ自動車入社。

ロシアトヨタ社長、BRロシア室長、国際経済研究所取締役・理事などを歴任し、2018年独立。

著書に『ユーラシア・ダイナミズム—大陸の胎動を読み解く地政学』（ミネルヴァ書房）、『ロシアトヨタ戦記』（中央公論新社）など。

### 柯 隆

(かりゅう)



●静岡県立大学グローバル地域センター 特任教授  
●東京財団政策研究所 主席研究員

1963年中国南京市生まれ。94年名古屋大学大学院修士課程修了（経済学修士号取得）。長銀総合研究所国際調査部研究員、富士通総研経済研究所主任研究員、同主席研究員を経て、18年より東京財団政策研究所主席研究員。主な専門分野は開発経済、中国のマクロ経済。著書に『中国「強国復権」の条件』（2018年慶應義塾大学出版会、第13回樫山純三賞受賞）、『ネオ・チャイナリスク』研究』（2021年慶應義塾大学出版会）ほか。



緊急国際フォーラム (6月13日)

## ウクライナ危機と地政学リスクに立ち向かう国際戦略 参加申込書

下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、6月9日(木) 17:00までに、FAXまたは郵送にて「グローバル地域センター」までお送りください。ホームページからお申込みいただけます。なお、定員となり次第、締め切ります。

**FAX・郵送先**

〒420-0839 静岡県葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階 静岡県立大学グローバル地域センター

**FAX: 054-245-5603**

●TEL: 054-245-5600 ●<https://www.global-center.jp>  
●E-mail: [glc@u-shizuoka-ken.ac.jp](mailto:glc@u-shizuoka-ken.ac.jp)

フリガナ 氏 名			
会社・団体名			
御 住 所	〒	TEL :	FAX :
	ご 勤 務 先		ご 自 宅
Eメールアドレス	○をお付けください。		
今後、当センターからの講演会の案内を	希 望 す る	・	希 望 し な い

\*FAX・郵便にてお申込みの方には、順次、参加確認の通知をしますので、御確認ください。ご記入いただきました個人情報につきましては、静岡県立大学が開催する講演会のご案内にのみ使用いたします。

\*新型コロナウイルス対策のため、マスクの着用、入館時の検温に御協力ください。

\*新型コロナウイルスの状況によっては、会場での開催は中止、又は会場定員を減らしての開催となる場合があります。